

三重大学邦楽部30年の回顧

三重大学邦楽部顧問
堀場 義平

昭和44年(1969)に顧問を引き受けてから、平成10年(1998)3月で丸30年経ちます。

定年1年前を潮に、この3月で邦楽部顧問としての役目を下りることになりました。

幸い、人文学部の友永教授が顧問として継続して頂くことになっていますので、安心して引き下がれます。

私自身は、この30年間、邦楽を指導する能力もなく、一教官顧問としての飾りにすぎなかったが、30回の定期演奏会に毎回出演するなど、その思い出は数々あります。

そこで、印象に残っている思い出の一端と邦楽部の足跡をご紹介します。顧問教官としての責務を終えさせていただく次第です。

邦楽を愛する皆様方には、これからも、三重大学邦楽部への叱咤激励を賜り、ご支援下さいますようお願い申し上げます。

一 尺八との出会い一

初めて尺八を手にしたのは、三重大学農学部の手先をしていた昭和41年12月であった。

その頃の専攻生に邦楽部の古田正博君がおり、彼は石炭ストーヴの突っ入り天井の高い木造の研究室で、夜になるとひとりよく尺八を吹いていた。ある日の夕方、専攻生とダルマストーヴを囲み、チャンコ鍋をつついて一杯飲んでいる時だったと思うが、彼の尺八を手にして指導を受けているうちに、何とか音が出るようになった。早速、彼から古い尺八を5千円で融通して貰い、「ロツレチ八」の練習を始めた。

そして、彼の卒業式の翌日、邦楽部の第1回定期演奏会を見せて貰ったのが尺八&邦楽部とのつながりをもつきっかけになったのかもしれない。早速、4月から名古屋の朝日文化センターの尺八教室に半年間通い、森故山師匠の手ほどきを受けると共に、「右京」銘の尺八を2万円程で購入した。

当時の邦楽部は、宮村社中に師事していた箏曲同好会(創部昭34年)と尺八同好会(創部昭38年)の合体によって発足したばかりの記念すべき演奏会であった。

一定演初出演一

翌年の第2回演奏会は、尺八部員が4名しかいなかったため小生も出演させて貰った。

尺八部員は農学部の学生ばかりであり、昼休みに旧木造校舎の空き教室などを利用したりして、学生と一緒に練習した。

琴との合奏練習は、教育学部の丸の内校舎であり、宮村師匠の指導を受けながらの緊張しっぱなしの練習で疲労感に酔わされた。

定演1週間前の土・日は、丸の内の合宿所

に学生と共に寝泊まりし、近くの公衆浴場で互いに背中を流し合ったりもした。

当初から邦楽演奏会の出し物の特徴は、振り袖の和服姿にあった。初出演の時も、男子は紋付き袴に揃えるとのことで、演奏会前日に近所から借用し、当日学生に着付けして貰った。演奏会場は、丸の内校舎のすぐ隣にある中央公民館で、客席の椅子並べや琴の移動なども部員達でやったものである。

演奏会曲目で印象に残っているのは、琴部員の藤原君が作曲した「秋霞?」を杉村・藤原両君で演奏したことや、黒田節を日本舞踊の振り付けをして演奏したことである。

一 顧問教官を引き受ける一

第3回(昭43年)までの顧問教官は、教育学部の竹岡教授、クラブ指導は宮村秀社中が行っていたが、昭和44年に女子部員の集団脱退が起こり、これまでの社中配下のクラブ活動の在り方が大問題になった。

その結果、クラブ員相互の親睦・演奏会の自主運営等が重視され、クラブの演奏指導も一社中に偏しないよう、月1回の講習会形式で琴の師匠(2~3社中)を招くようになった。このドサクサで竹岡教官が顧問を止められ、小生が顧問教官を引き受ける羽目になった。また、これらのゴタゴタの後遺症で、2年間の定演中止を余儀なくされた。現在は、人文学部の友永輝比古教授にも昭和60年以降顧問教官を引き受けて戴いている。

一 榑原師匠一

複数社中による講習会形式の指導も1年間程は新鮮な感じで平穩に運営していたが、大御所の榑原師匠への遠慮もあってか、2年目からは他の師匠から断られてしまい、専ら定演前の2、3ヶ月の期間は、榑原師匠に集中指導をしていただいた。

先生のご指導は、学生の自主性を尊重しながらも、曲の雰囲気や音色の強弱に厳しく、本学の演奏会もかなりの好評が得られるなど邦楽部の全盛時代を築いて戴いた。

先生には、第4回から第19回までの15年間ほどお世話になったが、御高齢を理由に引退された。

その後もライフワークとして、県立聾唖学校教諭当時からの点字翻訳業務に専念され、平成9年の秋には名誉ある功労賞を受賞されました。

一 学生との親睦旅行一

部活動の1つとして、夏期合宿や親睦旅行があり、若い頃には時々参加させて貰った。

思い出深いものを挙げてみる。

それは、昭和49年の上高地への大学テント村旅行である。

女子学生の多い邦楽部員の引率に、何かと不安があった想いもあったのか、当時農学部林産コースに在職していたので、4年生のゼ